

平成30年新年賀詞交換会兼グエン・フー・ビン氏叙勲伝達式

1月9日(火) 18時30分 (@メリアホテル)

トー・ファイ・ルア 越日友好協会会長
グエン・フー・ビン 元駐日ベトナム大使、越日友好協会副会長
及び御家族の皆様
レー・ホアイ・チュン 中央委員、外務次官

御列席の皆様、

明けましておめでとうございます。(Chúc Mừng Năm Mới)

本日は、平成30年新年賀詞交換会、グエン・フー・ビン元駐日ベトナム大使への叙勲伝達式に沢山の方に御出席いただき、心より感謝申し上げます。

1. 先ず初めに、日越外交関係樹立45周年となる2018年について語らせていただきます。45周年のロゴ・マークは、公募と厳正な選考を経て、こちら(バックドロップを指しながら)のロゴ・マークが選ばれました。

南部タイニン省在住のグエン・チー・トアンさんの制作です。ベトナムのチムラックという鶴の模様をイメージした「45」の数字が「桜の花」を囲み、日越両国の緊密な関係を表現しています。表彰式は、ホーチミンで今月末に開催される「ジャパン・ベトナム・フェスティバル」の機会に行います。

今年2018年一年を通じ沢山の行事がベトナムと日本各地で開催されます。昨年は、天皇皇后両陛下の初のベトナムご訪問、日本の対越直接投資認可額が史上最高となったこと、護衛艦イズモの初のカムラン湾寄港、残留日本兵家族の日本訪問等、緊密な日越関係を象徴する成果が色々とありました。

今年は45周年事業を一つ一つ大切に実施しつつ、政治・安全保障分野の一層の協力強化、高いレベルの直接投資総額の維持、質の高いインフラ・プロジェクト整備、人材育成等に重点を置きたい考えです。留学生・技能実習生に関わる問題も、日本の少子高齢化、沢山のベトナム人の若者の人生に直接影響する重要課題として、取り組みを強化したい考えです。皆様の御協力を宜しくお願い申し上げます。

2. 次に、グエン・フー・ビン元駐日ベトナム大使、越日友好協会副会長の「旭日重光章」受章に関連し、ビン元大使の功績を説明させていただきます。

ビン氏は、2002年から約5年間北東アジア担当の外務次官、2008年から約4年間駐日大使を務められました。

ビン氏が次官、駐日大使の約10年の間に、日越間の相互理解は格段に深まり、政治・経済関係は飛躍的に進展しました。

私は、外務本省で東南アジア地域、南西アジア地域を担当していた2010年夏から2年間、ビン駐日大使と共に仕事をさせて頂きました。

ビン氏には次官として、また、駐日大使として沢山の功績がありますが、本日はその内3点のみ紹介させて頂きます。

第1の功績は、代々木公園で盛大に行われている「ベトナム・フェスティバル」に関するものです。同フェスティバルは、ちょうど10年前の2008年、外交関係樹立35周年を記念して始まりました。当時、ビン駐日大使は、ベトナム側実行委員長として、第一回フェスティバル実現に奔走され、今日につながる基礎を築かれました。

第2点は、2010年秋、日本が中国のレア・アース輸出禁止に直面した時に救いの手を差し伸べて頂いたことです。2010年10月、ハノイでの日越首脳会談において当時のズン首相から、ベトナム国内のレア・アース鉱山の日越共同開発の提案がありました。私を含め首脳会談に出席していた全ての日本人は、ベトナム提案に心より感謝致しました。

日本の苦境に関するビン駐日大使の正確な報告に基づく、ベトナムからの善意に満ちた提案でした。その後、日本は、ベトナムから要請のあった「WTOにおける市場経済地位」の受け入れを決定しましたが、この点も間違いなくビン大使の功績です。

第3の功績は、2011年3月11日に発生した東日本大震災に関連したものです。当時、日本は、ベトナムから衣料品をはじめ物心両面の大きな支援をいただきました。また、後に国家主席に就任されたサン党書記局常務が2011年6月、被災地を慰問いただきました。当時、ビン氏は駐日大使として、大震災被災者支援の為に様々な提案を本国に行い、実現頂きました。

2012年、外務省引退後も、ビン氏は越日友好協会副会長、ハノイ裏千家名誉副会長として、日越関係の深化のために御尽力いただいています。ビン元駐日大使の長年のご貢献に改めて心より感謝を申し上げます。

最後に、皆様の御健勝、日越関係の一層の発展を祈念して、私の挨拶とさせていただきます。

有難うございました。(xin chân thành cảm ơn) (了)